

奈良県広報誌「県民だより奈良」制作業務 公募型プロポーザル 評価基準

評価項目	評価内容	配点	
1. 業務実施体制 (20 点)	総括責任者、デザイナー、イラストレーター、ライター、カメラマンの配置が適切であり、仕様書に示す業務を円滑に遂行できる体制が整っているか。	10	
	緊急の修正や追加の取材など、柔軟な対応が可能な体制であるか。	5	
	県との連絡・調整における窓口やコミュニケーション体制が明確であるか。	5	
2. 制作能力 (70 点)	表紙	表紙デザインが、県広報誌としてふさわしく、読者に訴求力があるか。(写真は評価の対象外)	10
	特集①	① 構成力 (紙面設計の適切性) 県が示したテーマ・意図を踏まえ、読者に分かりやすく情報を整理しているか。また、見出し、段組み、縦書き・横書き、図表・写真の配置などが論理的で、誌面全体の視線の流れが自然か。	10
		② 表現力 (文章作成力・デザインの魅力) 文章が簡潔で分かりやすく、読者の興味を引く表現になっているか。また、デザインがテーマに合致し、視覚的に訴求力があるか。	10
		③ 独自性・工夫 (企画の創意工夫) 県の意図を踏まえつつ、読者に響く独自の切り口や工夫があるか。また、誌面をより魅力的にするためのアイデア (イラスト、図解、キャッチコピーなど) が具体的か。	10
	はじめての万葉集	① デザイン力 誌面全体のレイアウトが美しく、情報が整理されているか。「万葉集」というテーマにふさわしい世界観、雰囲気 (歴史・和のテイスト) が表現されているか。	10
		② 提案力 若い世代にも多く読んでもらえるような新しい提案 (新しいタイトル、切り口、編集の工夫など) がなされているか。	10
	見本品全体	ユニバーサルデザインへの配慮 (高齢者や視覚障害者への配慮、色使い、フォント選定等) がなされているか。	5
		電子書籍版 (スマートフォン・PC 等) での閲覧性に配慮した誌面構成となっているか。	5
3. 経費妥当性 (10 点)	見積額は適切か。	10	
合計		100	